

様へ

説明医師






















説明看護師(外来)

看護師(病棟)

月日	月 日	月 日	月 日
経過	入院日 (手術前日)	当日(術前)	当日(術後)
目標	○心身ともに安定した状態で手術を受けられる ○治療に対する不安を表出できる		○麻酔合併症がない ○離床できる ○呼吸困難がない ○ストレッチが積極的にできる ○出血がない ○疼痛がない
検査	・身長、体重測定 ・動脈採血		 ・採血  ・レントゲン撮影
食事	・夕食後絶食、21時以後絶食 ・経口補水液は麻酔科の指示で服用	 絶飲食	朝より食事再開
	朝食は自宅	 	  
処置・観察	リストバンドを装着します(退院日まで) 弾性ストッキングのサイズを測定し、お渡しします  手術部位にマーキングを行います	点滴の針を留置します   時間になれば看護師が手術室にご案内します	手術後以下の挿入物装着物があります ・酸素マスク → 酸素チューブに変更 → ・心電図モニター → 取り外します ・点滴の管 → ・創部の管(ドレーン) → ・尿道カテーテル → ・フットポンプ(血栓予防) → 取り外します (必要時) 吸入します
	 状況に合わせて、体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を測ります		
点滴・内服	 持参薬、お薬手帳を看護師にお渡しください  眠前下剤を服用します	 手術室で点滴を開始します(手術が午後の場合は、病棟で点滴を開始します)	 以下を内服します ・消炎鎮痛剤 →  以下の点滴を行います ・持続点滴 → ・鎮痛剤 →
	 シャワー浴、洗髪をします 	 以下の手術準備をします ・手術着に着替え ・弾性ストッキング装着 ・入れ歯、アクセサリ、時計等の取り外し	 午前中全身清拭し、手術着からパジャマに着替えます 
行動・リハビリ	 ・制限はありません ・呼吸練習を行います	 翌朝までベッド上安静です	 付き添いのもと、リハビリを開始します(歩行訓練、呼吸練習)
説明	 医師・麻酔科医より説明(外来又は入院時) ・治療計画について ・手術について ・麻酔について	 医師医より説明 ・手術結果について   看護師より説明 ・術後の注意点について ・安静について ・下肢運動について ・痛み止めの使用方法について	
	 病棟・手術室・集中治療室看護師より説明 ・入院生活について(パスシートを使用) ・手術について ・集中治療室について		
	 薬剤師より説明 ・持参薬確認 ・使用薬剤について		

**\* 入院に際して、この用紙を必ずお持ちください**

\* 入院時に栄養状態を評価して栄養管理計画を立てます。定期的に栄養状態の再評価を行い計画を見直します。  
 \* この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、予定通りではないこともあります。

月日	月 日	月 日～ 月 日	月 日	月 日							
経過	術後 2 日目		術後 3～4 日目		術後 5 日目		術後 6 日目 (退院日)				
目標	○麻酔合併症がない ○呼吸困難がない ○出血がない ○疼痛がない ○胸の管が抜ける ○離床できる ○ストレッチが積極的にできる						○退院後の療養生活について理解できる				
検査	 レントゲン撮影		 3 日目 レントゲン撮影		 レントゲン撮影						
食事							退院日は朝食のみ				
											
処置・観察	以下の挿入物があります ・酸素チューブ → 取り外します ・点滴の管 → 抜去します ・創部の管 → 術後 2～3 日で抜去します (空気漏れがある場合は、止まるまで留置します) ・尿道カテーテル → 抜去します						退院時にリストバンドを外します				
	 創部を観察、処置を行います →										
	(必要時) 吸入します →										
状況に合わせて、体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を測ります											
点滴・内服	 以下を内服します ・消炎鎮痛剤 →										
行動・リハビリ	 尿道カテーテル抜去後 トイレで排尿できます		 創部の治癒状況に合わせてシャワー浴を再開 します (週 3 回、病棟毎で日が異なります)				 (退院日) 朝食後退院です				
	 リハビリを継続します (歩行訓練、呼吸練習) →										
説明							 医師より説明 ・退院後の治療計画、療養上の留意点について  看護師より説明 ・退院後の療養生活について (退院療養計画をお渡しします)				

